

2024年12月期 中間決算説明資料 および
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況

In Step with the Future
NICHIRIN
110th
ANNIVERSARY
SINCE 1914

株式会社 **ニチリン**
[証券コード 5184]

1. 2024年12月期(令和6年12月期) 中間決算概況
2. 2024年12月期(令和6年12月期) 業績予想に対する進捗
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況
4. トピックス

1. 2024年12月期(令和6年12月期) 中間決算概況

2024年12月期(令和6年12月期) 中間決算概況

【経営成績等の概況】

日本において、HV需要の増加と円安により輸出は増加、国内は能登地震やカーメーカー出荷停止問題の影響により減少。また、海外においては、中国で日本車販売の減少を受け、北米・アジアが比較的好調に推移する中、総じて円安の影響が増収増益に寄与し、当中間決算は、中間期での過去最高売上高、最高益を更新いたしました。

前年中間決算および当中間決算業績

(単位：百万円)

項目	2023年中間決算		2024年中間決算		増減	
売上高	33,859	100.0%	36,283	100.0%	+2,424	+7.2%
営業利益	4,394	13.0%	4,882	13.5%	+488	+11.1%
経常利益	5,365	15.8%	6,122	16.9%	+757	+14.1%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,003	8.9%	3,827	10.5%	+824	+27.4%

期中平均レート	2023年 中間決算	2024年 中間決算	増減	
USD(米ドル)	135.00円	152.36円	+17.36円	+12.9%
EUR(ユーロ)	145.93円	164.69円	+18.76円	+12.9%
CNY(中国元)	19.46円	21.06円	+1.60円	+8.2%

■ 為替影響額(前年同期比)

売上高 : +25.4億円

営業利益: +8.4億円

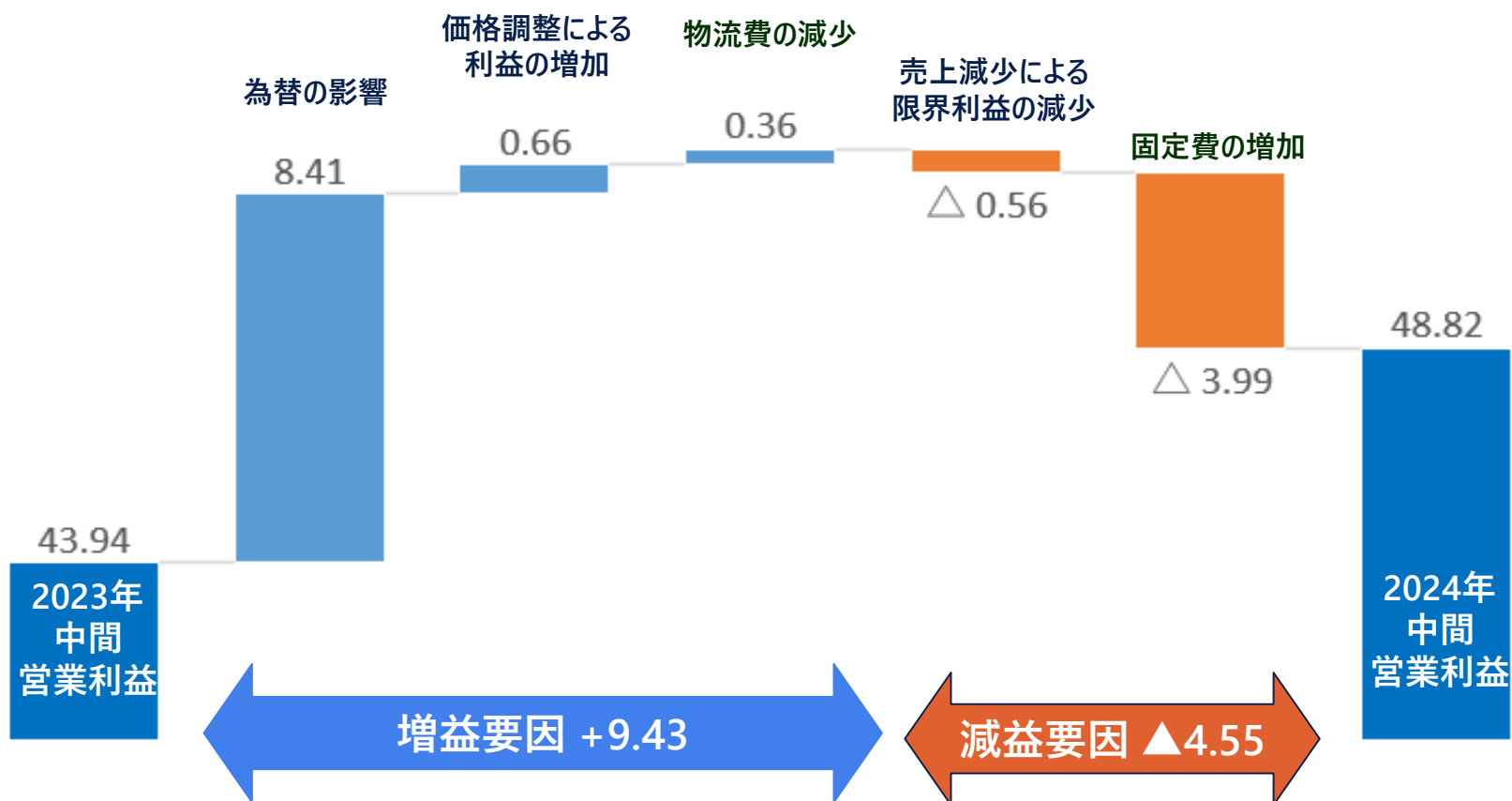
■ 営業利益の為替感応度

1円 : 0.96億円/年

2024年12月期(令和6年12月期) 中間決算概況

営業利益増減要因

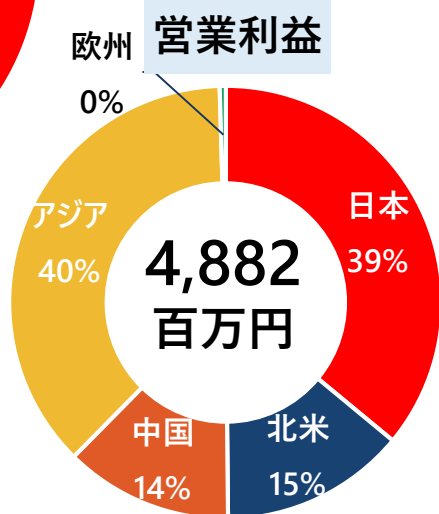
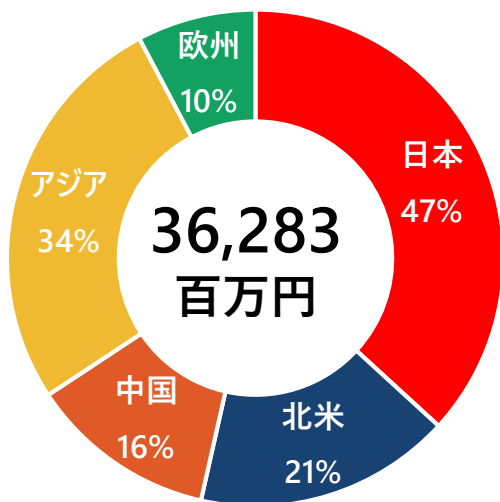
(億円)



2024年12月期(令和6年12月期) 中間決算概況

【セグメント別業績】

2024年中間決算
売上高



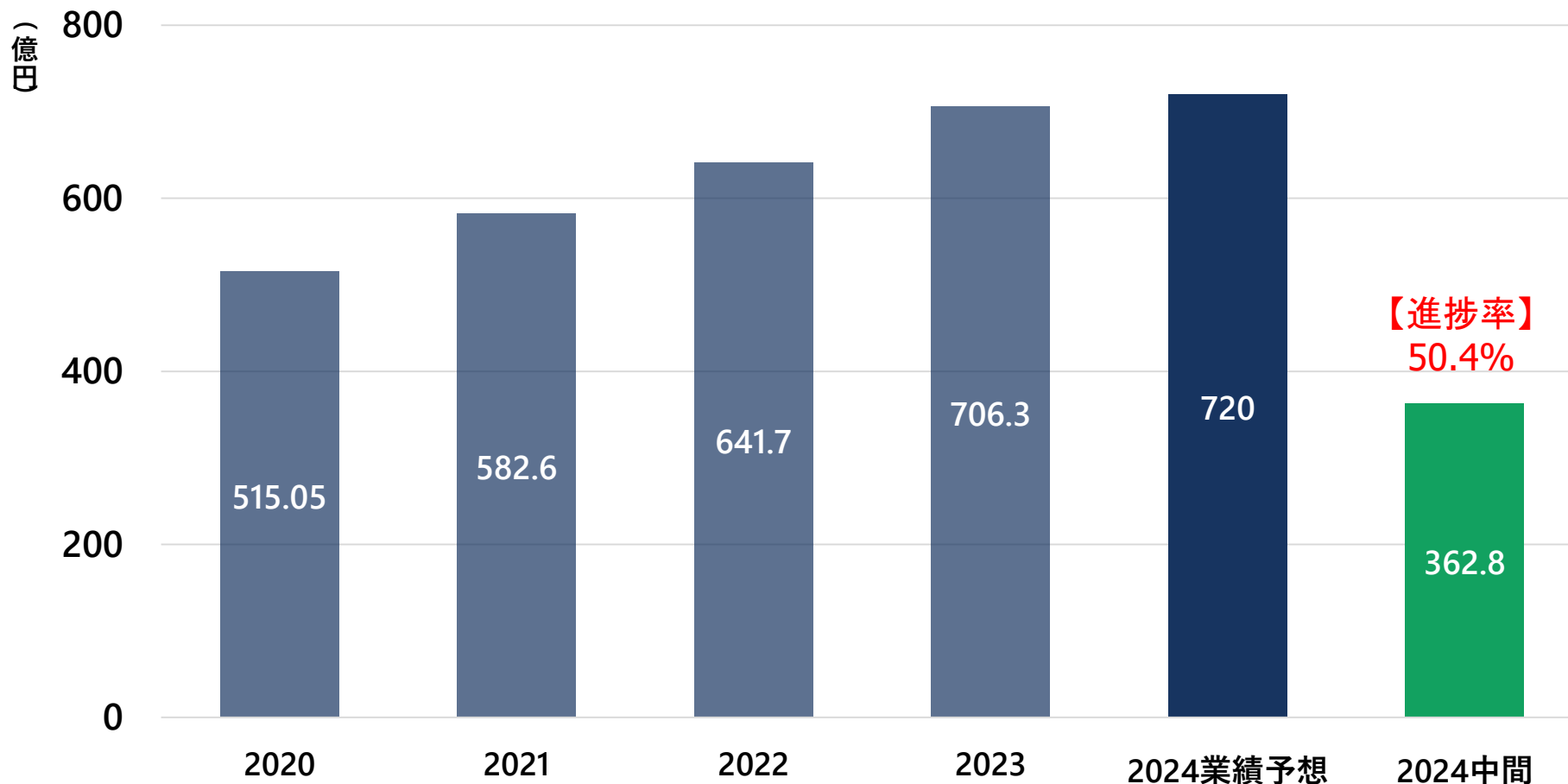
	(百万円)	2023年 中間決算	2024年	
			中間決算	前年同期比
連結	売上高	33,859	36,283	0.0%
	営業利益	4,394	4,882	0.0%
日本	売上高	16,787	17,168	102.3%
	営業利益	1,536	1,896	123.4%
北米	売上高	6,376	7,798	122.3%
	営業利益	579	729	125.9%
中国	売上高	5,880	5,683	96.6%
	営業利益	685	661	96.5%
アジア	売上高	10,589	12,383	116.9%
	営業利益	1,538	1,957	127.2%
欧州	売上高	3,200	3,611	112.8%
	営業利益	38	24	63.2%

2. 2024年12月期(令和6年12月期) 業績予想に対する進捗

2024年12月期(令和6年12月期) 業績予想に対する進捗

売上高

業績予想の前提となる為替レート
 1 USD = 140円
 1 EUR = 150円



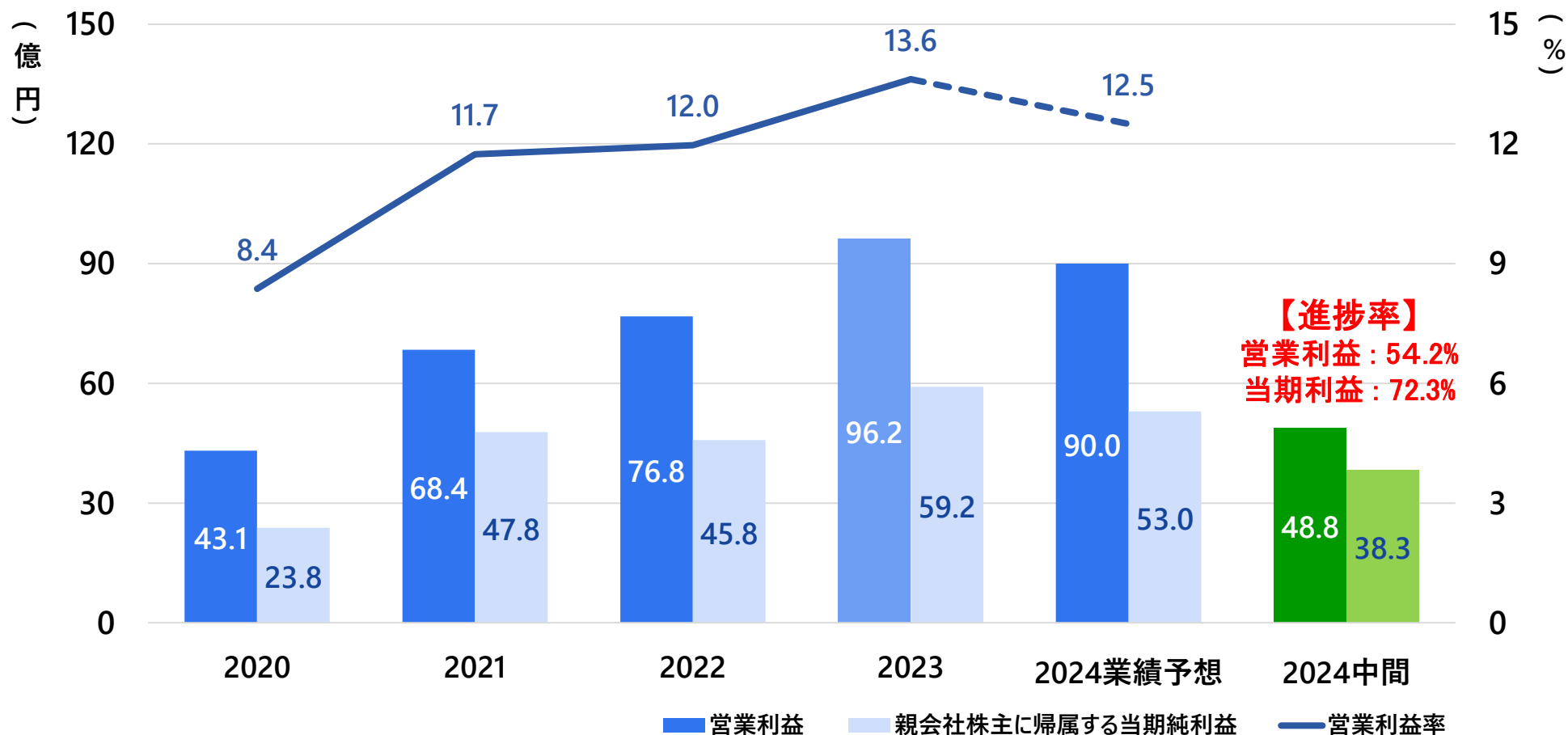
2024年12月期(令和6年12月期) 業績予想に対する進捗

営業利益・当期純利益

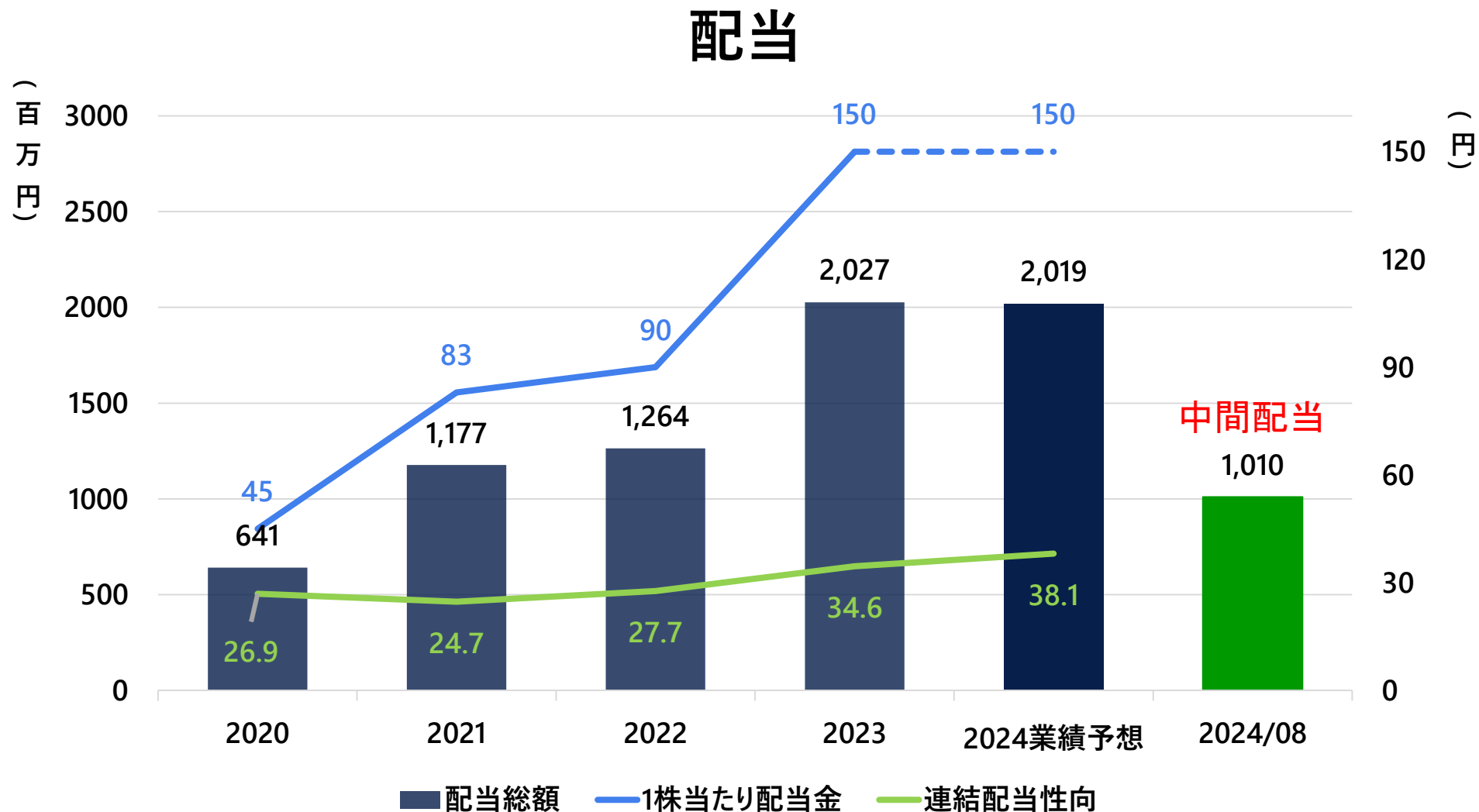
業績予想の前提となる為替レート

1 USD = 140円

1 EUR = 150円



2024年12月期(令和6年12月期) 業績予想に対する進捗



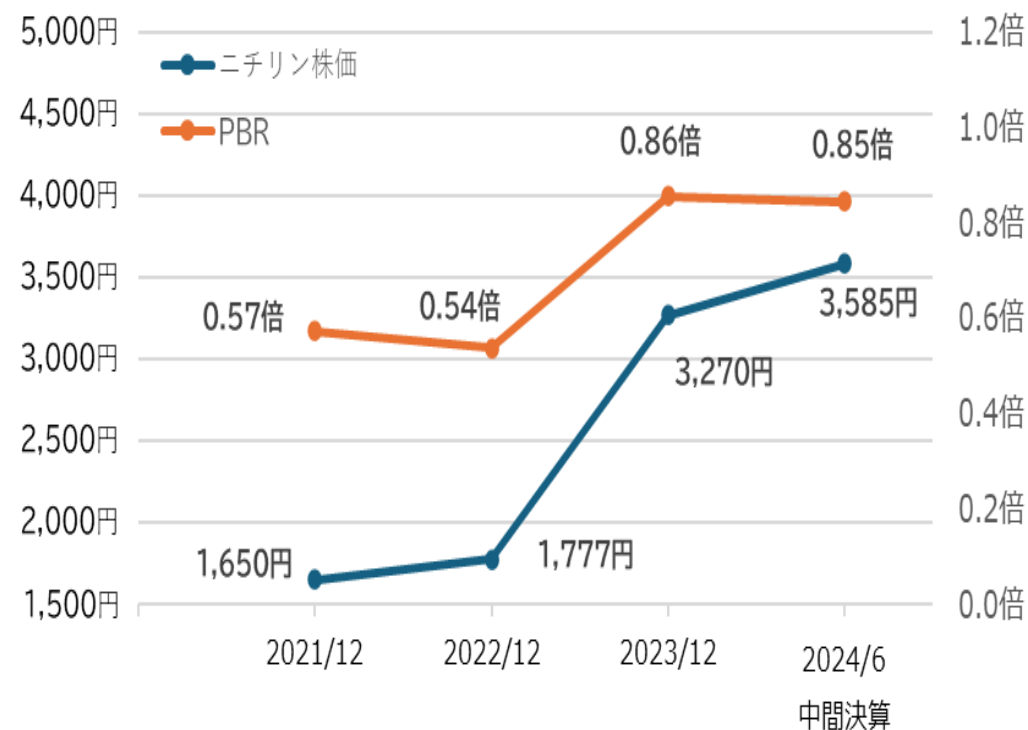
3. 資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応についての進捗状況

1. 現状評価 (中間決算実績)

2024年中間決算

項目	単位	2021/12	2022/12	2023/12	2024/6 中間決算	計画進捗率	2024年計画
売上高	百万円	58,260	64,172	70,631	36,283	50.4%	72,000
営業利益	百万円	6,841	7,678	9,620	4,882	54.2%	9,000
経常利益	百万円	7,531	8,452	10,548	6,122	64.4%	9,500
当期純利益	百万円	4,781	4,578	5,915	3,827	72.2%	5,300
営業利益率		11.7%	12.0%	13.6%	13.5%		12.5%
ROE	%	12.6%	10.5%	12.1%	—		10%以上
PBR	倍	0.57倍	0.54倍	0.86倍	0.85倍		1.00倍
配当性向	%	24.7%	27.7%	34.6%	—		38.0%
純資産(非支配除く)	百万円	40,717	46,224	51,456	57,146		
1株当り純資産	円/株	2,883.82円	3,303.52円	3,822.63円	4,242.20円		
ニチリン株価	円/株	1,650.00円	1,777.00円	3,270.00円	3,585.00円		

2. 株価とPBR



改善に向けた方針

現状の評価を踏まえ、当社は株主や投資家の皆様から
当社の成長性を適切に評価して頂く事を基本的な方針とします。

- ROE 10.0%以上を維持するための施策
- キャッシュフローの開示等による成長戦略の具体化
- 機動的な資本政策の継続



PBR 1倍を上回る水準とすることを目標

成長戦略 収益性の向上に向けた取組み 進捗状況

EV化の進展等に適応した製品開発と販売拡大

Ex. EVメーカーへの販売拡大



グループ連携による事業領域の拡大

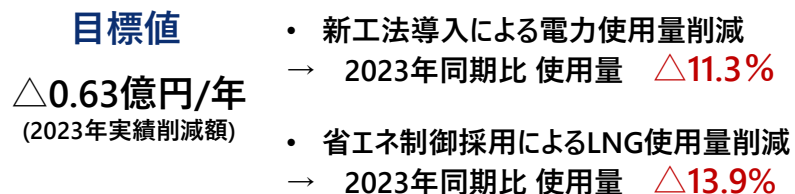
Ex. 欧米のプレミアム2輪メーカー ハーレーダビッドソン・BMWへの納入開始



SDGsに配慮した新工法・省エネ設備の導入

Ex. 電力使用量の大幅削減

2024年上期 取り組み状況



人的資本経営の推進と

多様性の有る人材活用を通じた経営基盤の強化

Ex. 親会社主要部門における外国人比率の向上



成長戦略 戦略投資

2024年 設備投資進捗状況

目標値
50億円
(2024年設備投資計画)

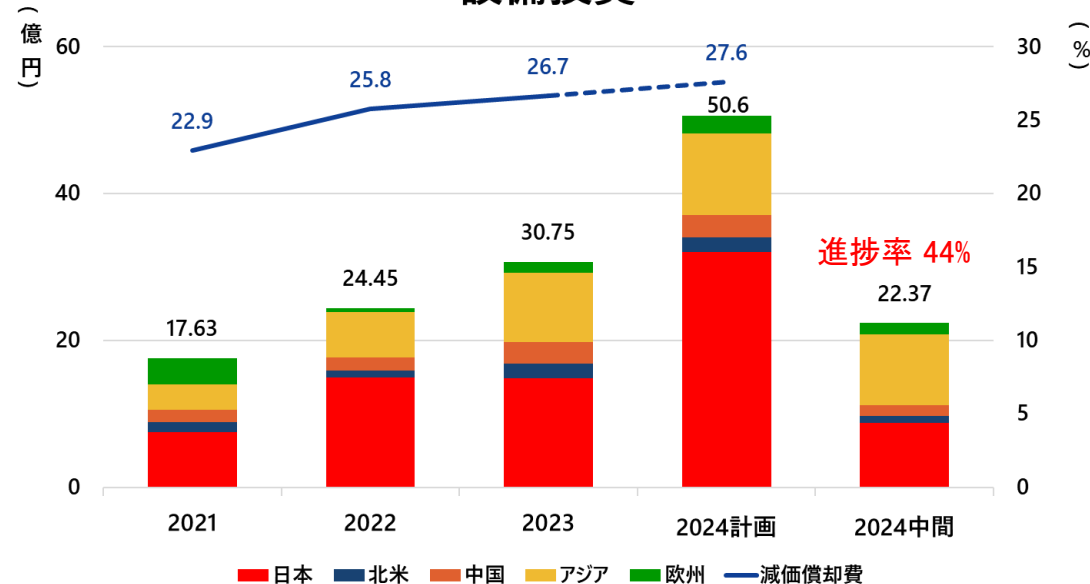


2024年1-6月度
設備投資額実績
22.3億円
(投資進捗率 44%)

主な設備投資内容

- Nichirin WorkShop竣工
- NICHIRIN THAILAND(タイ) の 工場倉庫の建設
- Nichirin Indonesia(インドネシア) の工場建設

設備投資



改善に向けた具体的な取り組み

成長戦略

- ① 人的資本経営への取り組み
- ② サステナビリティに関する取り組み
- ③ IRに関する取り組み

① 人的資本経営への取り組み

● 資格手当の充実

英語、業務に有意な資格を大幅に拡充

● 研修の実施

ヒューマンリソース・アセスメント研修／間接部門業務改善スキル向上研修／異文化・多様性理解セミナー

● 2025年新卒採用活動

多様性の観点から外国人、女性比率を考慮して採用活動

● 喫煙率低下への取組

非喫煙者への手当支給、禁煙サポート（医療機関の紹介、補助金支給）

②サステナビリティに関する取り組み

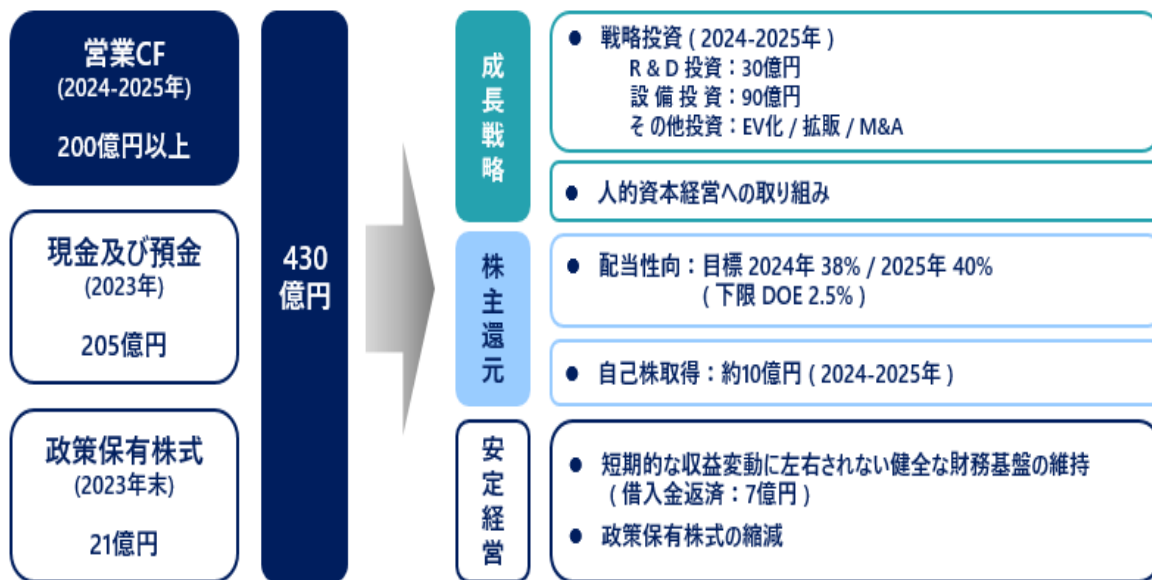
- 気候変動および人的資本に関する戦略および指標と目標を有価証券報告書に掲載
- ホース製造の工法変更による省エネルギー（電気、LNG使用量削減）
- SBTi認証取得（7月取得完了）
- グループ全体のGHG排出量について、スコープ1・2のデータ集約完了

③IRに関する取り組み

- IRチームを創設し、体制を強化
- 営業利益増減要因の細分化、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」開示
- アナリスト向け説明会を開催(4年ぶり)
- 機関投資家との対話
前年同期比約2倍の22回対話を実施
- ホームページでの財務情報、非財務情報の情報発信の充実
IR情報等29件、サステナ3件、その他7件

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についての進捗状況

<キャッシュ・アロケーション> 財務戦略・資本政策の強化



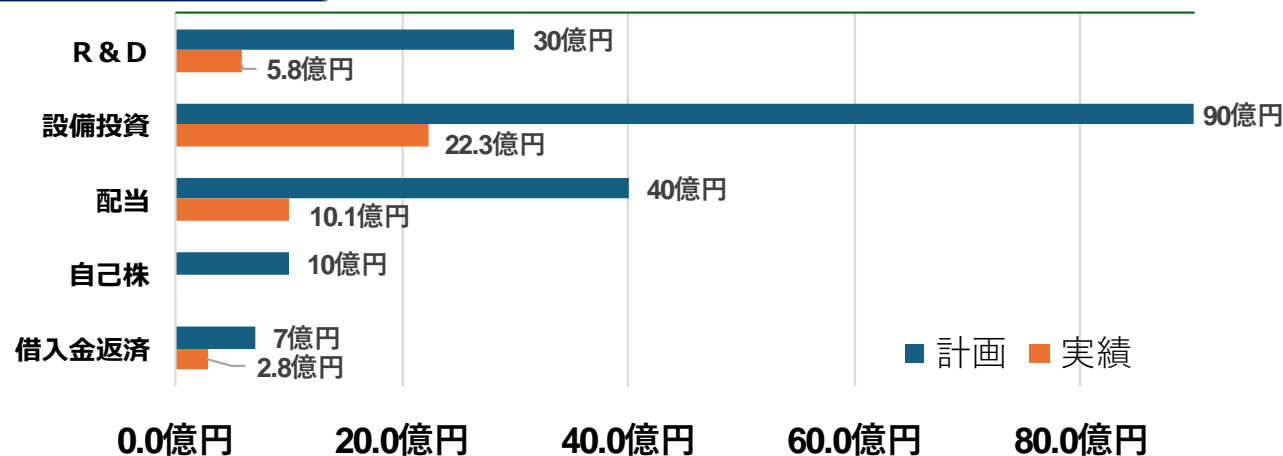
2024年-2025年通算

内容	計画	実績	進捗
R & D	30億円	5.8億円	19.3%
設備投資	90億円	22.3億円	24.8%
配当	40億円	10.1億円	25.3%
自己株	10億円		※
借入金返済	7億円	2.8億円	39.8%

※2024年8月にて、10.3億円の自己株購入実施

キャッシュアロケーション

内容	2024年	2025年	Total
R & D	15億円	15億円	30億円
設備投資	50億円	40億円	90億円
配当	20億円	20億円	40億円
自己株	5億円	5億円	10億円
借入金返済	5億円	2億円	7億円



4. トピックス

トピックス NICHIRIN WORKSHOP竣工



2024年7月、当社姫路工場内に新しい5階建ての建屋「NICHIRIN WORKSHOP」が竣工しました。当建屋は、より高品質なモノづくりを実現すべく人と協働するロボットの研究開発場所として活用します。現場で働く技術者がスキルを身に付けながら協働ロボットを活用したライン構築に取り組み、世界各拠点へのロボット導入拡大を推進していきます。将来的には中小製造業の人手不足解消の一助としてロボット活用のワークショップ（体験型講座、グループ学習など）の開催も計画しています。

当建屋1～3階に設備部門およびロボット作業場・トレーニングルーム、4階に事務所（生産管理部門・品質保証部門）、5階に大会議室などを設け、BCP対策として非常用発電を設置し、災害時には避難場所や緊急対策本部を設置する危機管理センターの機能を備えています。

トピックス サステナビリティ：SBTiの認証を取得

当社では、2050年に当社グループ全体でカーボンニュートラルを実現することを宣言しており、それを実現するためのステップとして、2030年までに当社グループ全体の温室効果ガス排出量（スコープ1+2）を2022年比で42%削減する※1、また2050年までに温室効果ガス排出量（スコープ1+2+3）を90%削減する、という目標を掲げています。

そしてこの度、国際的な認定機関である「Science Based Targets initiative」（SBTi）でこれらの目標の審査を受け、Net-zero基準※2に合致した科学的な根拠に基づく目標であると認められました。Net-zero基準に合致した目標だと認められたのは日本では31社※3しかなく、当社の先進的な取り組みが評価されたものだと考えています。

※1 他にサプライヤーエンゲージメントに関する目標もあり

※2 世界の平均気温の上昇を産業革命前に対して1.5°C以下に抑えるための基準

※3 大企業部門に限定した会社数（2024年8月23日現在 当社調べ）



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

～おことわり～

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済状況や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。
従いまして、記載された将来の予想数値・試作の実現を確約したり、保証するものではありません